

ガソリン・スタンド

ENEOS水素で、 未来を動かそう。

水素は、使う時にCO₂を出さないクリーンエネルギーです。
ENEOSは、全国で展開している水素ステーションをはじめ、
ENEOS水素の普及を通して低炭素社会の実現に貢献します。

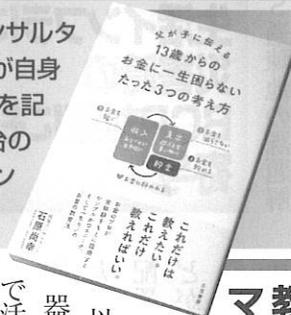


9月号

プロの知見と体験が織り込まれた 目から鱗の『お金(信用)』の話

出光興産出身の石原尚幸氏が出版記念講演を開催!

石油業界出身の気鋭の経営コンサルタントとして知られる石原尚幸氏が自身2冊目となる著書を上梓。これを記念して去る8月6日、港区白金台のホテル八芳園に同氏を慕うクライアントらが集い、盛大に出版記念講演が開かれた。



学校では
教えてくれない
マネー教育

出光興産販売部企画課
の社員から08年に独立して

以来、持ち前の財務知識を武器に経営コンサルタントの世界で活躍している石原尚幸氏。事業承継や相続問題といった中小企業のリアルな問題にも明るく、さまざまな経営者の悩みに寄り添いながら、持続可能な事業成長を後押ししてきた。

本誌でも過去に石原氏の仕事ぶりを取り上げ、若かりし頃(特約店担当時代)のエピソードや、SSビジネスの陥りやすい問題点を解説してもらったことがある。数字面に強いだけでなく、現場にも足繁く通い、スタッフ

を激励するスタイルが読者の共感を呼んだ。

そんな石原氏がこのほど、自身2冊目となる著書を上梓したのを記念し、



いしはら・なおゆき。1973年生まれ、愛知県名古屋出身。96年、上智大学経済学部経営学科卒業後、出光興産に入社。京都支店、関東第二支店を経て05年本社・販売部企画課に配属。08年に独立起業し、2012年法人化した。

出版記念講演を行うと聞いてお邪魔した。会場にはクライアント先や同業の関係者ら30名ほどで参集。また当日の様子はオンラインで生配信され、同氏が主宰する会員制コミュニティのメンバーも数多く視聴していた。

さて、気になる著書のタイトルは『父が子に伝える13歳からのお金に一生困らないたった3つの考え方(三笠書房)』。前作の『社長! お金は「こ」だけ押さえれば会社は潰れない』2枚のシートで利益とキャッシュを確実に残す!(ダイヤモンド社)から一転、今度は子供と一緒に楽しみながら学べる内容となった。



株式会社プランディングの香山菜穂子代表取締役。コンサルのコンサルとして、石原氏のパーソナルプランニングを担当している。

【祝辞】

それもそのはず、同書の題材となっているのは、実際に石原氏が2人の子供たちに施してきたお金に関するリテラシー教育。親が子に語りかけるような文体をベースに、長年プロのコンサルタントとして培ってきた経験と「我が子にはお金の苦勞をさせたくない」というリアルな親心が組み合わさり、読み進めれば進めるほど興味と共感を誘う構成となっている。

ビジネスパーソンも必読

今回の記念講演では、改めて書籍に関するテーマをプレゼン形式で解説。途中、アクティブラーニング的に参加者同士の意見を深める



株式会社
石原尚幸
代表取締役



※1 日頃からクライアントのビジョン実現を語る石原氏らしい刺激的で実りある講演となった

ETERNITY

エタニティー

石原尚幸

出版記念講演

御席

※1

など、自分事として捉えてもらおう工夫も凝らされていた。

実際、石原氏が指南する「お金に一生困らないための考え方は、企業経営や資産形成の原理原則に通じるものがある。子供に伝えたい内容であると同時に、ビジネスパーソンであるお父さんの方こそ、身につけておきたい知識と言えるかもしれない。

壇上で石原氏も懐かしそうに話していたが、出光興産の新人社員時代に特約店主から言われたことが今になって痛いほど理解できるという。それは「お金は命を担う血液と同じ。滞留しては死を招き、循環させることで生き永らえる」というものだ。

実際、著書のなかでも「お金を稼げない人たちが世の中にはお金がない」という前提でいるのに対し、お金を稼げる人たちは「世の中にはお金がある」という前提でい

る」と指摘する場面がある。

統計を見れば、世の中には2000兆円のお金が出回っており、もしお金がないというなら、まだその人たちのところには来ていないだけのこと。だから、川の水を田んぼに引き込むかのように、水の流れる道を開拓する必要がある。しかし、闇雲に引き込めがいいという話ではなく、そこで問われるのが、

出光興産時代に学んだ「お金の果たす役割」というのだ。

自分が遊びたいから、人より楽しみたいから……という考えでは、いずれお金の流れも枯渇する。それよりも相手を喜ばせたり、人様の生活を豊かにしようとする循環させることで、目に見えない信用が貯まり、次第にお金も入ってくるようになる

る。そしてお金を稼げるようになるればなるほど、世の中にまたたくさんの貢献ができるようになるという道理である。

これぞまさしく、投資と回収を繰り返しながら成長を図る企業経営そのもの。その過程で無駄な出費を抑え、埋もれている資産を活用することで、総資産利益率の改善へとつながっていく。

このようにお金の流れる道をデザインできる人が、稼ぐことができ（信用を貯められる）人である、著書では述べられている。このほかにもビジネスに生きる具体的な考え方や戦術も満載。年頃のお子さんを持つ方はもちろん、これからの時代の羅針盤としてご興味のある方も、ぜひ取り寄せてご一読あれ。



※1

公開Q&Aでは参加者から受けたリアルな相談に対し、その場で得意即妙なコンサルを披露



※1

（株）フレックスコンサルティンクの榊本宏代表取締役。ベストセラー1冊の著者として、今回石原氏の著書の企画・構成を行った

【祝辞】

※1:写真 石原氏提供